

2017 地域おこし協力隊が行く!



地域おこし協力隊は、栗田雅史隊員、菅谷光太郎隊員、柴田学隊員、柴田琢磨隊員の4名です。栗田隊員と菅谷隊員のおふたりは、今月で任期満了。金山に住んでみて思うこと、今後の活動についてなど、3年間の想いをつづっていただきました。

■今月の栗田隊員



着任当初は、実際何をしたらよいのか不安でいっぱい。多くの町民の方々と交流を持つことで、どのような活動を行うのかを考えていきました。任期中は、山大生と金中生とのコラボ授業を企画、実施をしたほか、大学機関、町内の各学校とも、仕事を一緒にさせて頂く機会にも恵まれました。

任期終了後は、志望進路の都合で金山町を離れることとなりますが、今後は、一個人として、引き続き金山町をサポートしていきたいと考えています。3年間協力隊としての活動を支えて頂いた、町民の皆さんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

菅谷隊員とTUYの「どよまん」に出演させていただきました。番組では、農家の柴田さんからいただいたタラの芽をナムルやピーナツ和えに調理しました。初めて作る料理だったため、菅谷隊員主導で調理を行ったのですが、菅谷隊員も金山町のお母さん方から教えて頂いた料理だそうで、やはり地域で採れる食材の調理方法は現地の方が詳しいと感じました。

これから山菜の季節がやってくるので、山菜の調理方法を勉強し、自分でも調理できるようにしたいです。

■今月の柴田(琢)隊員



■今月の菅谷隊員

地域おこし協力隊の生活も遂に3月末で一旦の終わりを迎えます。私の場合は金山町で起業し、定住していくための道を模索していく事を選びました。地域おこし協力隊の仲間や移住者の方々、そして地域の皆さんの協力を得て「ボックス地域おこし企業組合」という会社を立ち上げます。

この会社で何をするのかはいずれまた説明させていただきたいと思いますが、今までの地域おこし活動も継続しながらより実践的に行っていけるようになります。今後も金山町の事を学び続けていきますので、皆さん今後ともよろしく願っています。この3年間、本当にありがとうございました。

今年は金山町の歌、新庄南高金山校の歌を制作する計画を立てています。私自身はまだ3年前に移住してきたばかりで、金山町について知らない部分がまだまだ多いと感じています。そこで、金山町民、その中でも若者がどのような思いを抱きこの町で暮らしているのかを知り、作詞のヒントにしたいと考え、金山校に協力いただき、生徒の方々に町と学校に関するアンケートを取らせていただきました。その思いをしっかり受け止め、想いを伝える事の出来る歌を作り出せるよう頑張ります！

■今月の柴田(学)隊員

